



特集1 「岡山県外国人相談センター」開設	P 2
特集2 岡山県国際交流協会 年間イベント一覧	P 3
事業報告 国際貢献NGOフェア ほか	P 4
私、岡山に住んでいます ペルー ベニーテス・マルコさん (レストラン Peru GRILL経営)	P 8
世界の文化 ～学校生活編～	P 9
Think Global, Act Local ～県内国際団体のご紹介～ 岡山県華僑華人総会	P 9
イベントカレンダー 英語による絵本の読み聞かせ会 ほか	P 10

おかやま 国際交流



開所式テープカット

(左から)野崎泰彦岡山県国際交流協会代表理事、伊原木隆太岡山県知事、房野文彦岡山県県民生活部長

「岡山県外国人相談センター」開設

4月1日(月)

4月1日、外国人労働者受け入れ拡大を図る改正入管法の施行に伴い、県内在住外国人の増加を見込み、岡山国際交流センター内に「岡山県外国人相談センター」を開設しました。

伊原木隆太岡山県知事が「県内に住む外国人が安心して岡山で暮らせるよう、さらなる相談体制の充実・強化を図り、悩みごとなどで困っている外国人のサポートをお願いしたい」とあいさつし、テープカットで開所を祝いました。

相談センターでは、仕事や医療、子育てなどの一般的な相談を受け付けており、在留資格、法律相談など専門的な相談にも専門家の協力を得て対応しています。気軽に相談に来ていただける環境と、的確にすばやく問題解決できるような相談センターを目指します。

(詳細は、次ページをご覧ください。)

「岡山県外国人相談センター」開設



岡山国際交流センター内に新たに開設されました



開設のあいさつをする
伊原木隆太岡山県知事



岡山県外国人相談センターの窓口

岡山県外国人相談センターでは、各種相談を受け付けています。来館・電話だけでなく、メールでの相談にも対応しています。自国の言葉で気軽に相談できるよう、多言語(13言語)で対応しており、相談者が通訳を介して相談員と話せるトリオフオン(三者通話電話)での相談もできます。

また、来館の場合は、プライバシーが守られるように、間仕切りで囲まれたコーナーを設けています。

県では、国の試算などから、県内在住の外国人は今後5年間で約2万人増えると推測しています。また、2017年末の統計では県内在住の外国人は2万5944人、そのうち91%がアジア出身です。人数の多い国籍順では、中国、ベトナム、韓国、フィリピン、インドネシア、ブラジル、米国、朝鮮、カンボジア、タイです。今後は多くの言語に対応するために翻訳機やアプリ等の導入や無料法律相談・在留相談の拡充を予定しています。

「岡山県外国人相談センター」 *秘密厳守・予約不要

と き：月曜日～土曜日 9:00～17:00 ところ：岡山国際交流センター 1階 相談コーナー、相談室
 言語：日本語、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、ベトナム語、タガログ語、タイ語、インドネシア語 ほか
 相談専用電話番号：086-256-6052 相談専用E-mail：support@opief.or.jp
 費用：無料

外国人のための相談・派遣事業のお知らせ

県内在住外国人を対象に、以下のような支援を行っています。

問合せ 企画情報課 TEL：086-256-2914 (月曜日～土曜日 9:00～17:00)

外国人のための無料生活相談

仕事、結婚、子どもの教育、在留資格などの生活相談を5言語で受け付けています。 ※秘密厳守

と き：中国語・ポルトガル語
 毎月 第1・第3土曜日、第2・第4水曜日 13:00～17:00
 ベトナム語
 毎月 第1・第3土曜日 13:00～17:00
 タガログ語
 毎月 第1土曜日、第4水曜日 13:00～17:00 ※電話相談のみ
 第3木曜日 10:00～14:00
 韓国語
 毎月 第2水曜日 13:00～17:00 ※電話相談のみ
 第4水曜日 13:00～17:00

ところ：岡山国際交流センター 1階 情報相談コーナー
 予約：不要
 相談専用電話番号：086-256-2913(相談日時のみ通話可)
 相談方法：来館または電話

外国人在留無料相談

外国人の在留資格(ビザ)や出入国の手続き等について、行政書士が相談に応じます。

と き：毎月 第1・第3土曜日 10:00～12:00
(ただし5月4日(土)、8月17日(土)、令和2年1月4日(土)は休み)
 ところ：岡山国際交流センター 1階 情報相談コーナー
 対応言語：日本語
 予約：不要
 共催：おかやま申請取次行政書士連絡会

多文化共生コミュニケーションサポーター (通訳ボランティア)派遣

学校、行政機関、医療機関等の担当者と外国人とのコミュニケーションをサポートするため、通訳ボランティアを派遣します。

外国人のための無料法律相談

外国人の法的な相談に、弁護士が無料でアドバイスをします。
 ※要予約(前日の16時まで)

と き：毎月 第3土曜日 10:00～13:00
 ところ：岡山国際交流センター
 対応言語：日本語、英語、中国語、ポルトガル語(ほかの言語は要相談)
 予約：必要(前日の16時まで) 共催：岡山弁護士会

子ども日本語学習サポーター派遣

県内の小・中学校等からの依頼を受けて、日本語の能力が十分でない外国人児童・生徒等に日本語学習支援を行うボランティアを派遣します。



【月別事業】

予定月	事業名	開催予定日
4月	情報相談コーナー・図書資料室ボランティア研修会	4月23日(火)
5月	おかやまフェアトレードデー!	5月18日(土)
6月	留学生と県民との交流会	6月15日(土)
	英語による絵本の読み聞かせ会	6月23日(日)
7月	日本文化体験・交流会	7月13日(土)
	地域共生サポーター養成講座・研修会	7月27日(土)
8月	子ども日本語学習サポーター研修会 第1回	8月18日(日)
	子ども日本語学習サポーター研修会 第2回	8月25日(日)
9月	英語で話そう	9月16日(月・祝)
10月	国際貢献・協力セミナー	10月5日(土)
	フェアトレード交流会	10月12日(土)
	岡山を知ろう交流バスツアー	10月19日(土)または10月20日(日)
	日本語ボランティアスキルアップ研修会	10月26日(土)または11月9日(土)
11月	海外マガジンリサイクル	11月11日(月)～11月16日(土)
	国際スポーツ交流会	11月16日(土)または11月30日(土)
	英語による絵本の読み聞かせ会 ー特別編ー	11月23日(土・祝)
12月	地球市民講座	12月8日(日)または2月22日(土)
	留学生と県民との交流会 ー特別編ー	12月21日(土)
令和2年 1～3月	国際貢献NGOフェア	1月～3月
1月	多文化共生コミュニケーションサポーター研修会①	1月10日(金)
	多文化共生コミュニケーションサポーター研修会②	1月11日(土)
	多文化共生コミュニケーションサポーター研修会③	1月17日(金)
2月	やさしい日本語	2月8日(土)または2月22日(土)

【今年度行うその他の事業】

開催予定月	事業名
未定	災害救援専門ボランティア研修会(全2回)
令和2年 1～3月	ボランティア研修会



国際貢献NGOフェア

1月4日(金)～3月27日(水)

県民への国際貢献・国際協力等への理解を促進する目的で、岡山県の11団体のNGOの活動をパネル展示で紹介し、パネル展示期間中2団体企画によるセミナーも開催しました。



日中友好協会岡山支部展示



岡山青年国際交流会講演会での長木愛代表による概要説明



NPO法人岡山日本語センター浦上典江理事長による講演会

展示スケジュール

開催日程	展示団体
1月 4日(金)～1月 9日(水)	NPO法人岡山県国際団体協議会(COINN)
1月10日(木)～1月16日(水)	岡山ユネスコ協会
1月17日(木)～1月23日(水)	NPO法人岡山日本語センター(OJC)
1月24日(木)～1月30日(水)	ダフエプロジェクト
1月31日(木)～2月 6日(水)	日中友好協会岡山支部
2月 7日(木)～2月13日(水)	認定NPO法人 日本・ミャンマー医療人育成支援協会
2月14日(木)～2月20日(水)	ガールスカウト岡山県連盟
2月21日(木)～2月27日(水)	岡山青年国際交流会
2月28日(木)～3月 6日(水)	NPO法人岡山県国際団体協議会(COINN)
3月 7日(木)～3月13日(水)	日本ボーイスカウト岡山連盟
3月14日(木)～3月20日(水)	岡山エスラント会
3月21日(木)～3月27日(水)	岡山発国際貢献推進協議会

日時/場所	団体名
1月19日(土) 13:00～14:30 5階 会議室(1)	NPO法人岡山日本語センター(OJC) 「岡山の生活者になるための日本語学習とは」
1月26日(土) 10:00～12:00 3階 研修室	岡山青年国際交流会 「ひらけ世界! ～内閣府青年国際交流事業 派遣事業及び各種国際交流プログラム～」

多文化共生コミュニケーションサポーター研修会 1月11日(金)、18日(金)、19日(土)

- 第1回講師 RASCコミュニティ通訳支援センター(Cots)代表 西村 明夫氏
- 第2回講師 順天堂大学 非常勤講師 クネゼビック・ジュリア氏
- 第3回講師 公益財団法人 兵庫県国際交流協会 村松 紀子氏



こちらのQRコードを読み取り、動画をご覧ください。

医療機関、学校、行政機関窓口等で外国人と日本人のコミュニケーションを通訳ボランティアとしてサポートする「多文化共生コミュニケーションサポーター」。その登録者と新規登録希望者、のべ49名の参加者のもと研修会を実施しました。



西村 明夫氏

第1回は西村氏から「コミュニティ通訳の基礎知識」として、コミュニティ通訳の機能構造や対人援助の技術と心構えを学びました。通訳と支援は違うということを認識しておくことが大前提として大切であるということや、診察待ち時間の対話の傾聴トレーニングの実践をしました。初めて参加した通訳登録希望者は「依頼者をありのままに受け入れることが大事だ」と思った。通訳者としての志を学ぶことができた」と意欲を示しました。



クネゼビック・ジュリア氏

第2回はクネゼビック氏から「医療通訳基礎編」として、「What makes an ideal interpreter? (通訳者として必要な能力はなにか)」という問いかけからはじまり、多様

性における通訳者のあり方を学びました。宗教的な観点やLGBTの方の支援の仕方など依頼者の背景状況は多岐にわたります。日本と世界を取り巻く多様性に関するワークショップを行いながら、質問が飛び交う活発な会となりました。



村松 紀子氏

第3回は、村松氏から「医療通訳者の活動とは～一人ひとりがやるべきこと～」として、「バイアスティック原則」と呼ばれる対人援助にかかわる救助者の行動規範として有名な考え方や通訳者と自己管理の重要性を学びました。「自己責任と自己決定は全く違うもので、自己決定させるだけの情報を与えた上での通訳を心がけましょう。燃え尽きてしまわないために、まず自己覚知をし、コンディションを整えて一緒に通訳者として活躍していきましょう」と、力強い励ましの言葉がかけられ、研修会は終了しました。



熱心にワークショップに励む参加者の様子

フェアトレード交流会

1月26日(土)

講師：国際協力 NGO halqa- はるか - 代表 丸山 輝裕氏
共催：岡山フェアトレードの会



こちらのQRコードを
読み取り、動画を
ご覧ください。



意見を交換する参加者

た農園の状況について発表しました。フェアトレードの息の長い取り組みにより、農民の生活が徐々に改善している一方で、手っ取り早い現金収入を求めて多国籍企業の買い

付けに応じ、フェアトレードから脱落してしまう農家の問題などが紹介されました。

また、フェアトレードが持続可能な国際協力であるだけでなく、生産者と消費者がつながることで、地産地消や障がい者の就労支援など

国内の地域活性化やまちづくりにも役立っている事例が紹介されました。

続いての話題提供では、先ごろ誕生した「四国フェアト

レードネットワーク」が紹介され、「世界と四国をつなげるフェアトレード商品づくり」として、四国各県のメンバーがフェアトレードの材料を使った商品開発に取り組んでいることが紹介されました。40名の参加者からは、「ラオスのことを詳しく知れてよかった」「私たちの暮らしと世界がどこかでつながっていることを強く感じた」「四国のような活動が岡山でもできるとよい」などの感想が寄せられました。

交流タイムでは、ラオスとルワンダのコーヒーや、紅茶、ハーブティーなどの飲料とお菓子を味わいながら、なごやかに懇談を楽しみ、最後にはグループごとに今日もっとも印象に残ったことを話し合い、意見を共有しました。



講師を囲んで記念写真



講師の丸山 輝裕氏

ボランティア研修会

1月27日(日)

講師：一般財団法人自治体国際化協会 地域国際化推進アドバイザー
国際文化交流協会 事務局長 有田 典代氏



講師 有田 典代氏

当協会ボランティア登録者を対象に「豊かな地域づくりをめざして、ボランティアとしてできること」というテーマで研修会を開催し、30名が参加しました。

講師の有田氏から、外国人受入れに関する国の政策や日本、岡山県の外国人の現状と課題、他地域での取り組み事例の紹介を受け、外国人が住みやすいまちづくりにするためには、今後どのような対策が必要か参加者全員で考え、グループごとに発表しました。

ボランティアの中でリーダーを選任し、ボランティア間の連携を強化する。出身国別のコミュニティをつくる。外国人、日本人問わ

ず地域で情報交換ができる居場所をつくる。など、ボランティア活動の幅を広げる提案が数多く出ました。

研修会を終えた参加者からは、「今まで受け身であったが、主体的に考えるきっかけをいくつか頂いたように思える」「ハードルが高いと感じていたことも発想の転換ができたので、身近なところからやっていきたい」「ボランティア同士の意見交換ができ、見方が広がった」などの感想がありました。



グループ別発表



講義の様子

やさしい日本語 研修会

2月16日(土)

講師：やさしい日本語ツーリズム研究会事務局長／株式会社電通 吉開 章氏

講師：ヒューマンアカデミー日本語教師養成総合講座講師 相川 直美氏

共催：岡山県

吉開氏ははじめに、ブラジル人、タイ人、日本人が話す英語の音声を聞き、出身国によって英語の発音に特徴があることを説明しました。そして、日本に住んでいる外国人の60%が簡単な日本語を理解し、40%が英語を理解できること、訪日外国人の多くがアジアからであり、台湾人や韓国人の場合、3人で旅行をすると、簡単な日本語を理解できる人が1人はいると紹介し、日本人は外国人の多言語対応は英語だと思いがちだが、日本で外国人と話すときは「やさしい日本語」がいちばん伝わりやすいと述べました。

やさしい日本語を話すコツは「はさみの法則(はっきり、さいごまで、みじかく言うこと)」だと教わりました。

相川氏によるワークショップでは、敬語や擬音語、擬態語、カタカナなど使わずに、どのような言葉や文章にすれば、やさしい日本語になるかをグループで考え発表しました。



講演：吉開 章氏

参加者からは「日本に来ている外国人には、やさしい日本語がとても有効であることを知った」「具体的に考えていく中で、やさしい言葉で伝えることの大切さがわかった」などの感想が寄せられました。

43名の参加者は講義を聞いたリ、ワークショップをしたりしたことで、ふだんだけ難しい日本語を使っているかに気がきました。



ワークショップ講師：相川 直美氏



研修会の様子

研修会「外国人と共に学ぶ災害時対応」

2月23日(土)

講師：NPO 法人多文化共生マネージャー全国協議会理事 明木 一悦氏

共催：岡山ロータリークラブ

災害時の外国人被災者の支援を迅速かつ円滑に行う体制づくりを進めるとともに、「岡山県災害救援専門ボランティア(通訳・翻訳)」のスキルアップ及び新規登録者の獲得を目指して、実践的な内容の研修会を開催しました。

まず、今年で3年目の共催となる岡山ロータリークラブの木村 容治会長にごあいさついただき、続いて岡山県国際課の平田 和幸副参事から、「災害救援専門ボランティア」の制度説明及び「平成30年7月豪雨における多言語支援について」の報告がありました。

講義及び演習「災害時の外国人支援～7月豪雨災害からの教訓～」では、広島県安芸高田市在住で、中国各県の状況に詳しい講師の明木氏が、平成30年7月豪雨の際の活動経験をもとに説明しました。その後は班別に演習課題に取り組みました。

昼食には非常食体験として、ハラ

ルに対応したアルファ米の山菜おこわを試食しました。

午後の多文化防災

ワークショップでは、外国人のいる避難所で起こりうる2種類のケーススタディをロールプレイで体験しました。問題点を具体的に把握できたほか、様々な立場の参加者と意見交換できて視野が広がったとの評価を得ました。

昨年の災害経験のためか、参加者39名(内、外国人4か国7名)の意識は高く積極的でした。また、災害救援専門ボランティア(通訳・翻訳)に3名の新規登録がありました。県内在住外国人の増加する中、災害時の外国人支援の効果的な体制づくりがますます重要課題であることを認識しました。



議論に耳を傾ける講師の明木 一悦氏(左奥)



真剣に避難所での問題の解決策を探る参加者



岡山ロータリークラブ
木村 容治会長



岡山県国際課
平田 和幸副参事

講師：特定非営利活動法人多文化共生マネージャー全国協議会 理事 柴垣 禎氏



講師 柴垣 禎氏

岡山県内の国際交流を目的とする団体が相互の連携を図る連絡協議会において、講師に柴垣氏を迎え、

「災害時の外国人支援～過去の災害事例から学ぶこと～」と題し、研修会を行いました。

講師の柴垣氏からは、被災直後から生活再建まで息の長い支援活動が必要で、活動の時期により支援の方法が異なることや、1995年阪神・淡路大震災から比べると情報発信方法や団体との連携方法が変わってきているという話がありました。

外国語の情報を発信する時は、分かりやすい日本語にしてから翻訳すること、情報発信は「安心を届けるために」していることを忘れていけない、家族、教育、習慣、宗教など個々

の背景が違うため、受け手によっては違う解釈をする場合がある、日頃から外国の方との繋がりを持つことが大切で、いろいろな団体との繋がりを持つことが減災に繋がっていくなど、柴垣氏は東日本大震災や熊本地震などでの災害時多言語支援センターの情報発信や、平成30年7月豪雨において外国人被災状況の現地調査などを行った経験を踏まえ、災害時の外国人支援について多くのことを伝えました。

参加した25名は、各地域の課題に対して、対策を図ることとしました。



連絡協議会の様子

2019年度「日本語教室開設・活動支援事業」助成金募集

県内在住外国人にボランティアで日本語を教える活動を推進するため、日本語教室を新規に開設する団体及び既存の日本語教室で質の向上や拡充を図る団体等に対して、支援を行いますので、ご活用ください。

対象団体

県内に住所を置き、月2回以上、定期的かつ自主的に、地域に在住する外国人を対象とした日本語教室を運営、または運営しようとしている個人または団体。

助成金額

1事業につき上限3万円

対象事業

在住外国人支援を目的としたボランティアによる日本語教室の開設または質の向上や拡充を図る事業で、原則として令和2年2月末までに実施する事業。

申請方法 & 問合せ

申請書様式を協会のホームページからダウンロードし、郵送または持参。事業の詳細（実施要項、募集要項）はホームページをご覧ください。詳しくは企画情報課まで。

ボランティア募集!

当協会では、各種ボランティアを募集しています。

ボランティアの種類

ホームステイ・ホームビジット受入家庭、通訳・翻訳、日本文化紹介、外国紹介、協会サポーター

応募資格

- ①岡山県内に在住、もしくは通勤・通学している満18歳以上の方（高校生不可）、または県内に所在する団体
- ②国際交流・協力活動に高い関心を持ち、ボランティア活動に理解と意欲があり、積極的に参加できる方
- ③外国人の場合は、日本語で意思の疎通ができる方

登録方法

所定の登録申請書に、必要事項を記入の上、E-mail、FAX、郵送、持参にて申込み ※登録申請書、詳しい活動内容についてはホームページをご覧ください

申込み

企画情報課 ☎086-256-2914(月曜日～土曜日 9:00～17:00)
FAX: 086-256-2489 E-mail: info@opief.or.jp



「私、岡山に住んでいます」 岡山で活躍する外国人をご紹介します

一生まれ育ったところ

ペルーの北部、エクアドルとの国境近くに位置する町、パイタ出身です。とても大きく鮮明に見える月が有名で、観光客が多く訪れます。あまりの美しさに見た人が呆然とすることから、ぼーっとしている状態を表す「パイタの月」を用いた慣用句も生まれました。



パイタの美しい月
(出典:www.puopiura.blogspot.com)

父がアメリカのマグロ船で働いていて、船がカリフォルニア州サンディエゴに着くので、私が9歳のときにサンディエゴに家族で移り住みました。船で世界中を巡る父はいろいろな地域の人々と親交があり、よく宴をしては各国の料理を楽しみました。人と知り合うことが好きな私にとっては夢のような日々でした。

一ヒルトンホテル、 Guam、岡山へ

サンディエゴで大学へ進学し、観光学を専攻しました。ホテル業やレストラン業について学び、卒業後はヒルトンホテルで働きました。その後、父と同じようにマグロ船で働く叔父がいた、Guamのヒルトンホテルへ転職しました。ここでたくさんのアジアのお客様と知り合いました。以前から日本文化にはひかれるものがありましたが、人々との関わりを通して様々な文化を学びました。

その後、縁あって倉敷に移住しました。遠く、言葉も通じないところでしたが、日本が安全な国であることは、礼儀正しい観光客の皆さんを見て知っていたので安心感がありました。倉敷ではスペイン語や英語、サルサなどのラテンダンスの教室を開き、その後、ペルー料理の専門的な資格を得るため帰国しました。2年後に岡山に戻り、日本のレストラン経営を学ぶため、スペイン料理店や和食店で修業し、8年後にPeru GRILLを開きました。

一レストラン Peru GRILL

ペルーの気候は海岸、山岳、熱帯雨林の3つに大きく分けられ、気候に合わせて独自の料理が発展しました。中でも特徴的なのは、インカ帝国で親まれた栄養が豊富な食材です。ペルーはとても恵まれた土地で、イモやウモロコシの種類は何千とあり、スーパーフードとして有名なキヌアなどもあります。私のお店でもお米にキヌアを混ぜて炊いています。ほかにもウガラシなど、様々な食材をペルーから輸入して使用しています。

ロコトというウガラシは辛すぎて私は食べられませんが、



ペルー料理に情熱をこめて
レストラン Peru GRILL 経営
ベニーテス・マルコさん
Marco Benites
出身：ペルー パイタ
日本在住：約 19 年



マレーシアやインドなど、香辛料を豊富に用いる国からのお客様には喜ばれます。「もっと入れて!」と言われ、驚きました。日本人も辛いものが好きな方々が増えていのように感じます。

お店の自慢は炭火焼ローストチキンです。ペルーから取り寄せた炭火焼機でじっくり時間をかけて焼きます。紫トウモロコシを使った伝統的な飲み物、チチャモラーダもお勧めです。栄養豊富なペルー料理は世界中で人気があります。



インカ帝国の起源マチュピチュにて

お店ではクスコの音楽隊によるペルー民謡を楽しむイベントもあります。アンデス音楽の楽器は難しく、肺活量がたくさん求められます。音楽隊は文化を伝えながら世界を旅していきます。私のお店にもいくつかのグループがやってきました。アンデスの空気を感じ、感動しました。



お店自慢の炭火焼ローストチキン



紫トウモロコシを使ったチチャモラーダ

ダンスや料理のように、すべてのアートには情熱を持つことが大切だと思っています。一緒にペルー文化を楽しみましょう。皆さんにお会いできる日を心待ちにしています。

～マルコさんからのメッセージ～

“Si haces algo, debes hacerlo con pasión.”

何かをやるときは常に情熱を持って

◀ Peru GRILL ～ペルーグリル～ ▶

- 岡山市北区表町1-8-33
TEL : 086-201-7275
ホームページ : www.perugrill.jp
Facebook : https://www.facebook.com/perugrillokayama
- ランチ 11:00～15:00
ディナー 18:00～22:00(日曜日～21:00)
- 火曜日定休・第3月曜日定休

日替わりランチやコース料理、宴会メニューもあります。



皆さんになじみの深い「学校」。国によってどのような学校生活の違いがあるのでしょうか。日本の学校の様子と比較して、楽しみながら読んでください。

シンガポール



大脇 弘嗣さん
岡山県国際交流協会職員/
日本在住5年

私が大学進学で日本に来るまで生まれ育ったシンガポールについてご紹介します。

何の資源もない淡路島ほどの小さな国、シンガポールは華人、マレー人、インド人などが住む多民族国家です。外国人比率は4割近くとなります。隣国マレーシアから分離独立して今年で54年目、シンガポールの最大の資源は「人」である特異性をもって、豊かな都市国家として発展しました。

教育システムは、イギリス植民地時代の影響を強く受けており、呼称や学期、学年の分け方など欧米式を採用している学校が多く存在します。(初等教育の6年、中等教育が4～5年、大学準備が1～3年、大学進学の3～4年)。日本との大きな違いは、初等教育から授業が公用語の英語で行われ、第2言語を母語として学ぶことが義務化されていることです。

また、学区制ではないので、希望の学校は小学校の段階で国が定める内申点や試験等で決まります。ただし義務教育は小学校まで、その後の教育上の選択肢は幅広く、環境にあった進路を生徒は望めます。様々なコミュニティーが存在するこの国は、同質性を求めず、お互いのアイデンティティ文化を尊重できる基盤を子どものうちから養えることが、大いに恵まれている部分だと思います。



質問に回答する小学1年生の子どもたち
(出典:<https://www.todayonline.com/singapore>)



高校生による作品展

ジンバブエ



ボウズ・キャサリンさん
ノートルダム清心女子大学
英語英文学准教授/
日本在住25年

ジンバブエは、幼稚園へ2年、小学校へ5年、高校へ6年通います。朝の7:40に始業。午後はスポーツや宿題をする時間。とても乾燥している地域なので、全体的に早い時間帯だったのだと思います。とにかく宿題がたくさん出るので、家でもよく勉強していました。日本の学生に比べると、本もたくさん読んでいました。学校では全生徒が、ハリーポッターのグリフィンドールの世界のように、アフリカの動物の名前がついたチームに分かれて勉強や課外活動をしていました。私はアフリカ特有のアンテロープという牛科の動物の名前がついたチームでした。このように、ジンバブエには野生動物がたくさん身近にいます。中でもキリンがお気に入りでした。

高校では米国のワイオミング州へ交換留学しましたが、ジンバブエと比べるとのんびり。温泉が有名で、温泉で水泳部の練習をしていました。その後、南アフリカの自然豊かな山々に囲まれたケープタウン大学へ。アフリカは日本の教育に比べると、選択の自由を尊重し、自立心を促す教育でした。どこの国も特徴があって楽しいですね。



ジンバブエで購入した動物のタペストリー

Think Global, Act Local 県内国際団体のご紹介

岡山県華僑華人総会

団体概要

県内に在約8,000名の在日中国人の組織です。県内に在住する中国籍の方、日本籍を取得した方に奉仕する岡山県華僑（国籍中国）華人（国籍日本-元中国籍）に奉仕すること、日本の各界各層の方々と^{ゆづぎ}の友誼を拡大させることを目的としています。私共の事務局は岡山国際交流センターの6階にあります。

活動紹介

中国籍の赤ちゃん誕生の時のパスポート新規発行、更新等のお手伝いや長期中国への仕事、留学、観光等の中国査証取得等も可能です。中国駐大阪総領事館の中国・四国地区の窓口として業務を行っています。

事業として岡山県国際交流協会と共催の中国語講座をはじめ、二胡教室等の紹介、料理教室等を行うとともに、中国国内から来日帰国した同胞に対し岡山県内の風俗習慣を伝え、入管法という外国人が理解しなければならない法律等を伝えています。

自然災害の発生が多い日本での救済の窓口として、昨年の倉敷市、岡山市等で発生した「平成30年7月豪雨」で被災された8世帯の同胞への支援活動を駐大阪総領事館と共に、表彰(感謝状)をいただきました。その他、文化講演活動として著名な先生方を講師に迎え、岡山市人権推進課の協力を得て講演活動も行っています。

県内は、たくさんの国からの外国籍の方々も増加しています。多国籍の方々との協力を得ながら、地域での共生社会を構築する外国人として友情の輪を広げています。



主催イベント「2018年春節岡山大会」

りゅうかつのり

会長：劉勝徳

事務局：〒700-0026 岡山市北区奉還町2-2-1 岡山国際交流センター6階

T E L : 086-201-1076 FAX : 086-201-1077

E-mail : chineseinokayama@yahoo.co.jp

ブログ : <https://blog.goo.ne.jp/chineseinokayama>

6月

23日(日) 英語による絵本の読み聞かせ会

県内在住の外国人講師が英語で絵本の読み聞かせをします。絵本のあとは講師の母国の話を聞きます。

- と き 6月23日(日) 11:00~11:30
- と ころ 岡山国際交流センター 4階 図書資料室
- 講 師 県内在住外国人
- 対 象 県内在住の子ども(3歳~小学校6年生)とその保護者
- 参加費 無料
- 定 員 なし ●申込み 不要
- 問合せ 企画情報課

7月

13日(土) 日本文化体験・交流会

在住外国人に日本文化を紹介・体験する機会を提供します。日本文化への親しみや理解を深めましょう。

- と き 7月13日(土) 10:30~14:30
- と ころ 岡山国際交流センター 地階 レセプションホール、5階 会議室(3)、和室、調理実習室
- 参加費 協会会員・外国人 無料、一般 2,000円
- 定 員 60名(外国人30名、日本人30名予定)(要申込み)
- 申込み 企画情報課

27日(土) 地域共生サポーター養成講座・研修会

岡山県から委託を受けて、在住外国人を支援する人材を育成するための講座を開催します。サポーターに登録しない方も参加可能です。サポーター同士の情報交換や交流会、先輩サポーターからアドバイスを聞く機会も設けます。外国人住民を支援したい方、ボランティアや多文化共生に興味のある方などのご参加をお待ちしています。

- と き 7月27日(土) 養成講座: 11:00~12:30
研 修 会: 13:30~16:30
- と ころ 岡山国際交流センター 7階 多目的ホール
- 内 容 講義、ワークショップ、交流会
- テマ 日本人と外国人ともに進める地域づくり
- 講 師 養成講座: 鈴木 暁子氏
(京都府立大学 京都地域未来創造センター 上席研究員)
研 修 会: 大倉 美恵氏
(結ぶ=YOU多文化共生センターおかやま代表)
- 参加費 無料 ●定 員 各30名
- 登 録 講座を修了された方は、岡山県の「地域共生ポーター」に登録できます。
- 共 催 岡山県 ●申込み 企画情報課

8月

18日(日)・25日(日) 子ども日本語学習サポーター研修会

当協会「子ども日本語学習サポーター」登録者の継続的なスキルアップと新規登録希望者を対象に研修会を開催します。

- と き 第1回 8月18日(日)、第2回 8月25日(日)
- と ころ 岡山国際交流センター 会議室等
- 対 象 当協会「子ども日本語学習サポーター」登録者及び新規登録者
- 参加費 無料 ●定 員 25名(要申込み)
- 申込み 企画情報課

9月

16日(月・祝) 英語で話そう

講師の研究分野である「和製英語」や英会話力向上、異文化コミュニケーション等に関する講演を聞くとともに、ワークショップを通して英会話を楽しみます。

- と き 9月16日(月・祝) 13:30~16:00
- と ころ 岡山国際交流センター 地階 レセプションホール
- 内 容 講演、ワークショップ
- 講 師 クレシーニ・アン氏(北九州市立大学 准教授)
- 対 象 簡単な日常英会話ができる方、県内在住外国人
- 参加費 協会会員、外国人、高校生以下 無料
一般 2,000円
- 定 員 60名(要申込み)
- 申込み 企画情報課

会員募集



一般財団法人岡山県国際交流協会では
会員を募集しています。

☆会員の特典

- 会報誌「おかやま国際交流」による国際交流情報の提供(年4回)
- メールマガジンの配信(月1回)
- 協会主催事業への参加費割引(団体会員は1団体2名までを割引)
- 入会時に記念品をプレゼント

☆年会費

個人会員: 2,000円 団体会員: 10,000円
賛助会員: 30,000円

☆申込み・問合せ 総務課まで

TEL:086-256-2000 ※9:00~17:30(月~土曜日)

E-mail:kokusai@opief.or.jp

問合せ

一般財団法人 岡山県国際交流協会

企画情報課 企画情報班

☎086-256-2914 (月~土 9:00~17:00)

総務課 ☎086-256-2000 (月~土 9:00~17:30)

会議室等の予約 受付管理班 ☎086-256-2905 (9:00~18:00)

[休館日]12月29日~1月3日及び臨時休館日(ただし日曜日は貸室業務以外休み)

編集・発行

〒700-0026 岡山市北区奉還町2-2-1

岡山国際交流センター内

一般財団法人 岡山県国際交流協会

☎086-256-2000(月~土 9:00~17:30)

☎086-256-2226

ホームページ: <http://www.opief.or.jp>

Facebook: <https://www.facebook.com/coolopief/>

Twitter: https://twitter.com/opief_okayama

E-mail: kokusai@opief.or.jp

協会HP

